

令和 7 年度

人間生活学研究科（博士後期課程）

問題・出題の意図・解答のポイント

令和 7 年 1 月 11 日

高知県立大学大学院

外国語（英語）

次の英文を和訳しなさい。

(100 点)

出典：The United Nations SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS（出題の都合で一部改変した）(<https://www.un.org/sustainabledevelopment/>, 2024.12.4 アクセス)

出典：The United Nations Goal 16 PEACE, JUSTICE AND STRONG INSTITUTIONS（出題の都合で一部改変した）(<https://www.undp.org/sustainable-development-goals/peace-justice-and-strong-institutions>, 2024.12.4 アクセス)

【出題の意図】

大学院博士後期課程において必要となる英文誌の内容を理解するための英文の読解力をみる。

【解答のポイント】

以下の点が理解でき、適切に訳出されていること。

1. SDGs の達成に参加する国々と 17 の目標の位置づけについて。
2. 平和、安定、人権、法の支配に基づく統治の重要性と世界の現状について。
3. 武力紛争や治安の悪化の影響と世界の現状について。
4. 暴力を削減するための法の支配と人権の促進の重要性について。

領域専門試験（社会福祉学領域）

問

2024年4月「孤独・孤立対策推進法」が施行されました。この法律が施行された背景もふまえ、孤立が人々や社会にもたらす影響について例示したうえで、この問題の要因やソーシャルワーク実践についてあなたの考えを論述してください。なお、児童・家庭福祉、高齢者福祉、地域福祉など特定の分野から論じて構いません。

(200点)

【出題の意図】

この法律では、日常生活あるいは社会生活において孤独を覚え、または社会から孤立していることにより心身に悪影響を受けている人への支援などに関する取組みや、国や地方自治体の責務などが定められている。社会課題としての孤立について、その背景や要因を考察しているか、またその問題への多角的な実践の在り方についての知識を問う。さらに、問いに対し的確に把握し、論理的に記述する能力、分析力、文章表現力、知識の応用などを問うものである。

【解答のポイント】

1. 社会的孤立について、個人の責任に帰せず、社会モデルで捉え説明していること。
2. 声を上げやすい社会、つながりをもたらす地域づくりの取組みについて、ソーシャルワークの観点を踏まえ、総合的かつ具体的に説明していること。